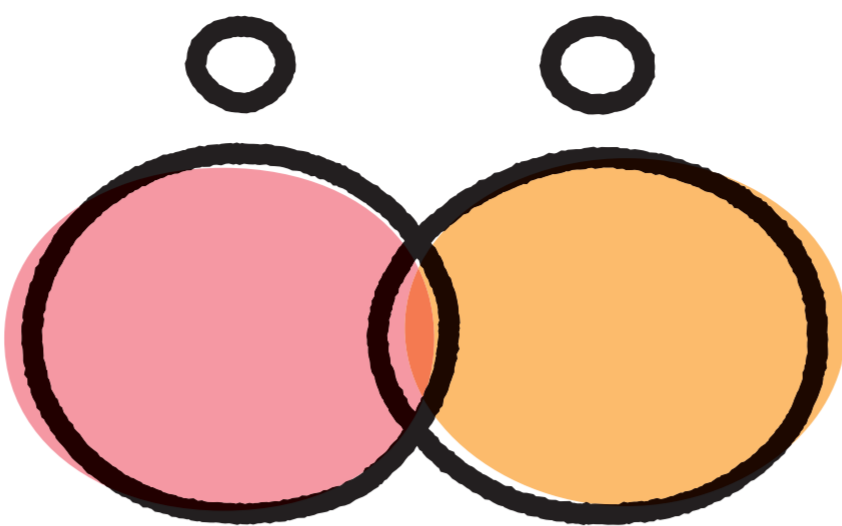


いっしょにアクション!



今できること プロジェクト 2013

「今できることプロジェクト」では、被災地・被災者の今をより多くの人に伝えることによって、現地に訪れることができない人にも現状を伝え、震災の風化を防ぐことにつなげようとする「情報発信型支援」を、参加者の皆さんとともに、実行しました。



情報発信型支援《セミナー&バスツアー》レポート

学んで、実践して 情報発信の大切さ

震災からまもなく3年。被災地や被災者にとって、今必要なことはどんなことでしょうか。そして今私たちにできることは何でしょうか。さまざまな支援のあり方を探り、実行する活動を進めている「今できること」プロジェクトは、今回少しでも記憶の風化を防ぐために、「情報発信型支援」の取り組みを読者の皆さんといっしょに実践しました。

セミナーでは、情報発信の大切さ、フェイスブックなどによる具体的な発信の仕方を勉強し、バスツアーでは実際に被災地を訪れ、その場で情報を収集・発信してみようという実践活動を行いました。(紙面上部に掲載したのは、当日参加者の皆さんがフェイスブックに投稿した記事の例です)

被災地を知り、感じ、伝え、広げていく

バスツアーで訪れた岡上では、広大な更地の中に、日和山と朝市の会場がありました。訪れて様子を見ただけではわからないこともたくさんあります。景色から何を想像するか、現地の人からどんなことを学びとるか。真剣にメモをとる姿も多く見られました。自分なりに再整理してみることが大切です。そして今度は自分のこととして、身近な人に、遠くの人に、まだ行ったことがない人に伝えたり、広げていく。方法は、自分でもできることだと思います。これからの、それぞれに感じたこと、伝えたいことを発信していきます。それがきつと風化を防ぐことにつながっていきます。

《学習編》情報発信セミナー

●2013年12月16日(月・21日) 会場/河北新報社(まちとプロガール須藤美子さんの講演、発信ツールの使い方などの講演)



《実践編》情報発信バスツアー

●2014年1月19日(日) 訪問先/名取市岡上地区日和山、ゆりあげ港朝市(各所にて講演)



プロジェクトを通じてフェイスブック習得 情報発信の力に驚き

仙台市泉区 小野寺辰男さん(61)

今できることプロジェクトのセミナーをきっかけに、フェイスブックを使って情報の発信ができるようになりました。岡上のツアーでは、大勢のお客さんが朝市を訪れての様子や組合員のみなさんから受けた温かいおもてなしへの感謝の気持ちを投稿しました。自分で被災地に行ったときにも、感じたことや撮影した写真を掲載するようになっています。



情報を求める人がいる

埼玉県熊谷市 梶谷誠さん(45)

以前に仕事をしていた縁で、宮城県を第二の故郷のように思っています。震災の後にはボランティアなどで毎月のように宮城や福島を訪れています。被災地の情報を知りたいと、河北新報の購読も始めました。首都圏では震災の話はほとんど聞かず、風化を感じます。ですが、私のように、遠くにおいても情報を得たいと思っています。いる人がいます。私も今回の経験を埼玉の友人や職場の同僚たちに伝えたいと思います。



学んだこと発信したい

仙台市若林区 高橋愛実さん(18)

高校の卒業論文の課題をまちづくりのように考えています。被災地のことを学ぶだけでなく、宮城が元気になるような活動をしていきたいと考え、今できることプロジェクトに参加しました。岡上の状況はテレビなどで知っているつもりでしたが、実はまったく知らなかったのだと気付かされました。学んだことを卒論に生かし、家族や友人たちにも見たこと、聞いたことを伝えていこうと思っています。



支援の輪、大きなうねりに

ゆりあげ港朝市協同組合 櫻井広行さん(59)



ツアーでは、震災を経験した者としてみなさんに知っておいてほしいことをお話ししました。一つは「私たちの失敗を繰り返さないでほしい」ということ。地震が起きてすぐに避難をすれば、あんなに大勢の犠牲を出さずに済みました。いろいろな世代が真剣に話し合える場と機会を作り、減災やコミュニティーの在り方を見直していかなければいけないと思います。もう一つは、私たちが受けた支援への感謝の気持ちです。私たちが復興に向かって一生懸命取り組んでいる姿

を見てもらうことで、その恩に報いることはできません。私たちのこうした教訓や思いを、私一人で発信していくのは限界があります。1人でも多くの人に知ってもらい、発信してもらうことで、大きなうねりになります。新しい支援の形がいろいろと生まれ、世界中のモデルになれば素晴らしいのではないのでしょうか。私たちは朝市を多くの人に楽しんでもらえる、人の集まる場所にしたいと思っています。気軽な気持ちで遊びに来てください。



直な気持ちで大切に、楽しみを見つけながら情報を発信しようと思っています。

昨年、長野県に住む友人を岡上に連れていく機会がありました。友人は復興が進まない状況に驚き、「自分が耳にする報道では、現状が伝わってこない」とつぶやいたんです。「では、私が遠方の友人たちに伝えよう」。そう考えていたところ、今できることプロジェクトの企画を知りました。今までもボランティアに参加したり、被災地に行ったりしてきましたが、情報発信は時間や空間に縛られず、誰でも取り組める良い支援だと感じています。フェイスブックを始めて驚いたのは、静岡県に住む甥とつながり、やり取りするようになったこと。甥は私の投稿を見て、「被災地の現状を伝える草の根活動はとても大事だと思う。頑張ってください」と言ってくれました。素直な気持ちで大切に、楽しみを見つけながら情報を発信しようと思っています。

皆さんの支援情報や参加しているプロジェクト、感じていることを「今できることプロジェクト」特設HPにお寄せください。

www.kahoku.co.jp/imadeki/index.html

河北 今できること

検索

facebookページもあります。

●私たちが、被災地支援のため「今できること」をともに考え、このプロジェクトを推進していきます。

IHI/アヴィエスホーム/アサヒビール 東北統括本部/石巻専修大学/岩手日日新聞社/エイチ・アイ・エス/NEC/NTTデータ東北/キャンノンマーケティングジャパン/キリンホームマーケティング 東北統括本部/ケーズデンキ/サッポロビール 東北本部/サントリーピア&スピリッツ 東北支社/JA全農みやぎ/JTB東北/鈴木工業/住友生命 仙台総支社/住友不動産/住友林業 仙台支店/青南商事/セガサミーグループ/セキスイハイム東北/石油連盟/積和不動産東北/第一生命 仙台総合支社/大成ハウジング/大東住宅/タゼン/伝承千年の宿 佐勤/東海東京証券/東北ミサワホーム/東北三菱自動車販売/一般財団法人 日本手芸学会/日本政策金融公庫 仙台支店/日本製紙/日本製紙クレシア/日本生命 仙台支社/野村不動産/はとバス/平松剛法律事務所/ビルワーク/フージャースコーポレーション/富士通エフ・アイ・ピー/富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ/ベルモッドスズキ/北洲ハウジング/松島一の坊/三井不動産/三菱地所グループ/宮城県建設業協会/宮城県自動車整備振興会/宮城県遊技業協同組合/みやぎ生活協同組合/明治安田生命 仙台支社/鷹泉閣 岩松旅館/リコージャパン 東北営業本部/河北新報社(順不同)

◎後援/宮城県、仙台市、宮城県市長会、宮城県町村会、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会